

# 哲学カフェ

## 第六期の予定

1

五月三日

オリンピックと近代スポーツ

平尾 剛 さん(ゲスト)

2

六月二七日

哲学カフェの意味

永井良和さん(世話人)

3

七月二五日

危機の時代をどうとらえるか

大江矩夫さん(世話人)

4

八月二二日

わたしとわたしたち

野崎康夫(世話人)

5

九月一二日

「われわれ」としての自己

出口 康夫(ゲスト)

### 【テーマの概要】

1

オリンピックと近代スポーツ 詳細は裏面へ

2

哲学カフェの意味 哲学カフェというところを

を、何年間続けてきて、その難しさと面白さについて、いろいろな気づきがありました。最近、これらの難しさや不思議さは、実は「対話」というものがもともと持っている、不思議さによるものだと考えるようになりました。私たちは、対話やコミュニケーションを、私が「ある情報を」適切に「表現し」、相手に伝達し、相手が「その情報」を「理解する」というモデルで考えがちです。しかし、このモデルでは、「対話」の持ついくつかの大切な次元が失われてしまいました。「対話の三つの次元」について考えることで、哲学カフェの意味についてあらためて、深く考えてみたいと思います。

3

《危機の時代をどうとらえるか》 一体私たちは

今どのような時代に生きているのでしょうか？経済的に中流といわれる人たちは、先行きに不安を抱えながらも現在に満足しようとしています。下流・貧困といわれる人たちは、日々の生活に追われて訳も分からず不満を積み重ねています。上流・富裕層は、自己の幸運を抱きしめて賢く人生を楽しんでいます。この分断と混乱は何に起因するのでしょうか。現代に求められるのは、人間が生きていることの意味であり、その意味を考えることすらできないことが、現代の危機

であると思われれます。そんな問題を皆さんとともに考えたいと思います。

4

《わたしとわたしたち》 今改めて わたし

を問うことに意味があるのでしょうか？またその延長線上にある わたしたち とはなんでしょうか？ わたし は決して一人で成立するものではありません。おそらく あなた によって わたし は支えられていますし、 わたし によって あなた も支えられています。人間はそうした相互に支え合う力をもっています。ところが他者を支える力は、 わたしたち という時に他者を排除してしまう力として働いてしまいます。不思議な わたし と わたしたち 、あなた について考えます。

5

《われわれ」としての自己》 第四回の議論を

受ける形で、さらに「わたし」と「わたしたち(われわれ)」について更に考えてみたいと思います。「自己」とは何でしょうか？通常、自己とは、一人称単数の人称代名詞「わたし」によって表されるものだと考えられています。でも、本当に、それ以外の可能性はないのでしょうか？ここでは、自己を「わたし」ではなく、一人称複数「われわれ」と考えたらどうなるか、という問題提起を行い、それに即して対話・議論を深めていきたいと思えます。



# オリンピックと

## 近代スポーツ（仮）

平尾 剛 さん（ゲスト）

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、2020年東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京五輪」）が延期された。史上初の開催延期に、巷間ではウイルス禍と相まってやや過剰な報道が散見されるが、私は冷やかな目でこの成りゆきを見守っている。

というのも、私はこのたびの新型コロナウイルスの蔓延拡大に関係なく、オリンピックのあり方に異議を唱えてきたからである。

2017年11月に連載中のコラムで東京五輪は返上すべきであると書いた。オリンピックは巨大公共事業の口実であり、国民の税金を堂々と私物化するための体のよい名目となっていること。国民統制、監視強化、ナショナリズムの動員など、資本家や権力者によって蹂躪されていて、社会的弱者に見向きもしないこと。オリンピックの名の下に横行する不平等や不正義に触れ、声を上げずにはいられなかった。

理由はもう一つある。それはスポーツの価値の変容である。

スポーツとは本来、選手に人格的成長を促す。アスリートは、身体の可能性の限界を引き上げるプロセスにおいて人としての成長を遂げる。プロスノーボーダー

テレビ・ハーコンセンが「自発的創造性」と呼ぶスポーツの本質は、ここにある。そして観衆は、鍛錬によって培われたパフォーマンスを目の当たりにして、いわく表現しがたい興奮を享受する。



勝利や報酬はあくまでも方便である。それらは目指されるものとしてあるだけで、本質ではない。仕事や日常生活とは一線を画した「非日常的空間」において、いわば「人間の可能性」を現出させるのがスポーツの本質である。今や肥大化した商業主義および競争主義によってそれが損なわれており、そのシンボルが五輪なのである。

スポーツとは何か。スポーツはこれからどうなっていくのかという問いについて、東京五輪に関する問題を巡りつつ、元アスリートという立場から話をさせていただきたい。



JR京都駅から 市バス（26）『等持院道』  
市バス（205）『北野白梅町』  
京阪三条駅から 市バス（10）『等持院道』  
市バス（16）『北野白梅町』

### 特別講座のお知らせ（交渉中）



右の本の著者山森亮さんにベーシック・インカムについてお話をちょっと長めに聞かせて欲しいと思っています。一〇月中・下旬頃を目途に予定しています。ご期待ください。

### 哲学カフェ【問答連】のご紹介

【1】「哲学」について…これまでの著名な哲学者の論を学習したり吟味したりするのはなく、哲学的問題を通して他者の意見に耳を傾けること、自分の意見をもう一度見詰めなおすことなどの一連の実践を「哲学」と呼んでいます。

【2】必要なことは唯一誠実に話すことだけが、参加者には課せられる義務だと考えています。例えば、「ヘーゲルの弁証法においては…」などの言い方ではなく、できるかぎり自分の言葉で話すことを求めています。

【3】会場と参加費について…会場は上記の「ムーレック」で原則第四土曜日の二時から四時まで開催しています。参加費は、ワンドリンク（五百円程度）をお願いしています。